

秋田県鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業に係る総合評価審査委員会（小部会）（以下「審査委員会」という。）は、秋田県（以下「県」という。）が令和6年4月23日に公告した「鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業 06-DK-11」（以下「本事業」という。）の総合評価落札方式・一般競争入札に係る事業者提案について、提案審査書類及び入札金額の定量化審査により総合的に審査を行った。

県は、審査委員会による審査の結果を踏まえ、落札者を決定したため、審査委員会における評価の結果を審査講評として公表する。

令和7年3月19日

秋田県知事 佐竹 敬久

鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業 06-DK-11

審査講評

令和7年3月19日

秋田県

秋田県鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業に係る
総合評価審査委員会（小部会）

目 次

第1章 事業概要	1
1 事業名称	1
2 事業目的	1
3 対象業務	1
4 事業場所	1
5 事業期間	1
第2章 審査方法等入札手続き等に関する事項.....	2
1 選定の方式	2
2 落札者決定までの経過.....	2
3 審査委員会の設置.....	3
4 審査委員会の開催経過.....	3
5 落札者決定の手順.....	4
6 審査方法	5
第3章 落札候補者の選定結果.....	9
1 参加資格確認	9
2 提案審査書類の基礎審査.....	9
3 提案審査書類の定量化審査.....	10
4 入札金額の定量化審査.....	14
5 総合評価値の算定.....	15
6 落札候補者の選定.....	15
第4章 総評	16

第1章 事業概要

1 事業名称

鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業 06-DK-11

2 事業目的

鎧畑及び田沢湖発電所は、建設後 60 年以上が経過し、設備全体の老朽化が進行していることから、老朽化した発電設備等について、フィードインプレミアム制度（以下「FIP 制度」という。）の新設区分に適用する大規模改良事業を実施するものである。

また、設計・施工一括発注方式を採用し、設計段階から施工業者が参画することで、施工のノウハウや創意工夫等を設計に最大限反映させ、事業期間の短縮、コスト縮減、新技術の導入による維持管理の効率化等を図りつつ、安定的な電力供給を目指すものである。

3 対象業務

設計・施工一括発注方式による鎧畑発電所及び田沢湖発電所の大規模改良を行うものである。

調査・設計業務 一式

建設業務 一式

4 事業場所

(1) 鎧畑発電所

取水口周辺：秋田県仙北市田沢湖田沢字牛台

導水路：秋田県仙北市田沢湖田沢字牛台～字鎧畑

発電所周辺：秋田県仙北市田沢湖田沢字鎧畑

(2) 田沢湖発電所

取水口周辺：秋田県仙北市田沢湖田沢字見附田（田沢湖取水口）

発電所周辺：秋田県仙北市田沢湖田沢字瀧前

5 事業期間

契約締結日の翌日から受注者の提案日までとする。ただし、以下の条件のほか、要求水準書に記載の事項を遵守するものとしている。

- ・ FIP 認定の取得日の翌日から 2 年以内に既設発電設備を廃止すること。
- ・ 工期の終期は、令和 14 年 3 月 10 日を超えないものとする。

第2章 審査方法等入札手続き等に関する事項

1 選定の方式

本事業は、電気・機械・土木等の 工種や、技術・ノウハウが多岐にわたる複合的な工事であり、コスト縮減や工期・発電停止期間の短縮等を図るとともに、令和7年度中のFIP認定を確実に取得する必要がある。

よって、本事業を実施する民間事業者には、調査・設計業務及び建設業務はもとより、電力その他専門的な知見を含め、ノウハウ・創意工夫を発揮し、効率的・効果的なサービスを提供することを期待することから、価格のほかに、価格以外の技術的な要素等を総合的に評価する総合評価落札方式による一般競争入札によるものとする。

なお、本事業はWTO政府調達協定（平成6年4月15日マラケシュで作成された政府調達に関する協定）の対象であり、地方公共団体の物品等又は特定役務の調達手続の特例を定める政令（平成7年政令第372号）が適用される。

2 落札者決定までの経過

落札者決定の経過は、以下のとおりである。

時期	内容
令和6年4月23日	入札説明書等の公表（入札公告）
令和6年5月10日	入札説明書等（参加資格）に関する質問の受付締切
令和6年5月17日	入札説明書等（参加資格以外）に関する質問の受付締切
令和6年5月24日	入札説明書等（参加資格）に関する質問への回答の公表
令和6年6月5日	守秘義務の遵守に関する誓約書の提出の受付締切 参加表明書及び参加資格確認申請書等の提出の受付締切
令和6年6月11日	入札説明書等（参加資格以外）に関する質問への回答の公表
令和6年6月26日	参加資格確認結果の通知
令和6年7月30日	第1回対面式対話の実施
令和6年9月6日	第2回対面式対話の実施
令和6年10月11日	第3回対面式対話の実施
令和6年12月4日	入札書等及び提案審査書類の提出の受付締切
令和7年1月31日	プレゼンテーション及び審査の実施、開札
令和7年2月25日	落札者の決定

3 審査委員会の設置

本事業の落札者の選定を行うに当たり、県は、以下の有識者等からなる審査委員会を設置した。

審査委員名簿（敬称略、50 音順）

氏名	所属・役職等（入札説明書等公表時点）
喜田 勝彦	公営電気事業経営者会議専務理事（事務局長）
今野 速太	秋田県仙北地域振興局建設部長
成田 直幸	秋田県産業労働部公営企業課発電所建設室室長
山口 直也	青山学院大学大学院会計プロフェッション研究科教授
渡邊 一也	秋田大学大学院理工学研究科システムデザイン工学専攻 土木環境工学コース准教授

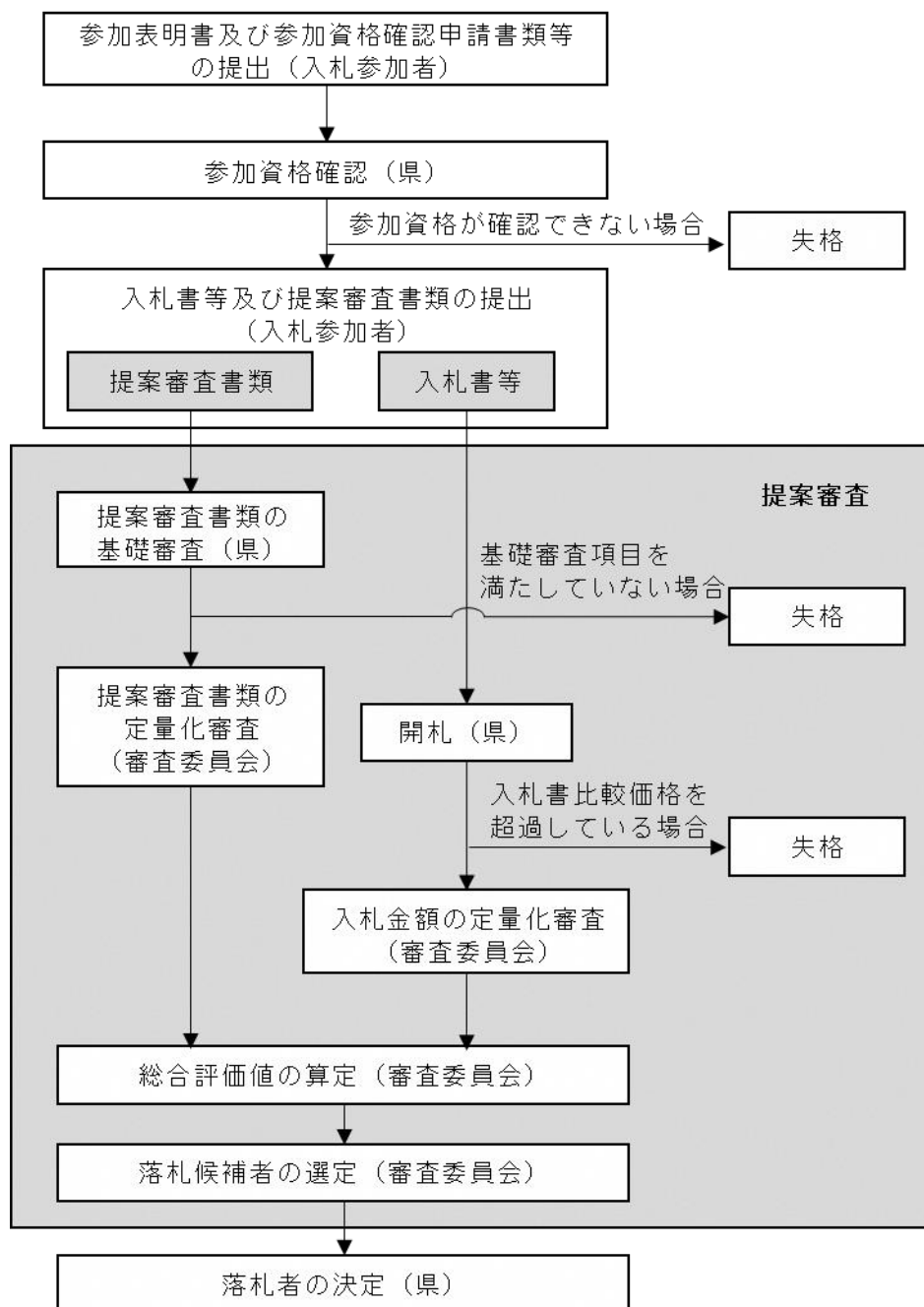
4 審査委員会の開催経過

審査委員会の開催経過は以下のとおりである。

時期	内容
令和6年2月1日	第1回審査委員会 （事業概要、入札説明書（案）、要求水準書（案）に関する説明・審議）
令和6年2月15日	第2回審査委員会 （提案審査にあたっての論点に関する審議）
令和6年3月14日	第3回審査委員会 （落札者決定基準（案）に関する説明・審議）
令和7年1月17日	第4回審査委員会 （基礎審査結果の報告、明瞭化要望に対する回答確認の報告、提案審査書類に関する審議、今後のスケジュール確認）
令和7年1月31日	第5回審査委員会 （提案審査書類に係るプレゼンテーション及びヒアリング、提案審査書類の定量化審査、入札金額の定量化審査、総合評価値の算定、落札候補者の選定）

5 落札者決定の手順

落札者決定の手順については、以下のとおりである。



6 審査方法

審査委員会は、基礎審査を通過した入札参加者の提案について、提案審査書類等の定量化審査を行う。

(1) 参加資格確認

県は、提出された参加表明書及び参加資格確認申請書等に基づき、入札説明書に記載の入札参加者の参加資格要件（以下「参加資格要件」という。）を満たしていることを確認する。なお、参加資格要件を満たしていることが確認できない場合は失格とする。

(2) 提案審査

ア 入札書等及び提案審査書類の基礎審査

県は、参加資格要件を満たした入札参加者が提出した入札書等及び提案審査書類（以下「提案審査書類等」という。）について、提案審査書類等がすべてそろっていること、指定した様式に必要事項が記載されていること、提案審査書類等の頁数が指定した頁数制限を超えていないこと、その他入札説明書等に違反する記載がないこと等、書類に不備がないことを確認する。また、入札参加者から提出された提案審査書類等の各様式に記載された内容が、要求水準を満たしていることを確認する。書類に不備がある場合又は要求水準が満たされていない場合は、失格とする。なお、県は、書類の不備については、競争環境の公平性を害さない範囲で修正等を求める場合がある。

イ 提案審査書類の定量化審査

(7) 審査項目、配点、審査の視点

審査委員会は、基礎審査を通過した入札参加者の提案審査書類に記載された内容について、落札者決定基準に示す審査項目及び得点化方法に従って審査する。

審査項目、配点、審査の視点は以下のとおり。

事業全体に関する項目（250点）

審査項目	配点		審査の視点
	鎧畑	田沢湖	
①事業全体方針	50点		・ 事業の目的及びコンセプトに対する理解がなされたうえで、本事業の特性を踏まえた的確で魅力のある取組方針が提案されているか。
②事業実施体制	60点		・ 指揮命令系統が明確化されており、FIP制度（新設区分）の確実な取得と事業の適切なマネジメント、品質確保が期待で

審査項目	配点		審査の視点
	鑑畑	田沢湖	
			きる実施体制・役割分担が、実績に裏付けされた形で構築されているか。 ・ 担当技術者について、女性活躍推進の視点も含め、本事業の円滑かつ確実な実施にあたって必要となる実績、資格等を有しているとともに、十分な人数を配置する実施体制が提案されているか。
③事業スケジュール	30点	30点	・ 設計施工一括発注方式を活用することによる、工期及び発電停止期間の短縮が積極的に見込まれるとともに、その内容に具体性と確実性が備わっているか。 ・ FIP認定（新設区分）の取得（住民説明会の実施を含む）、許認可や各種届出及び当該発電所の特性（工事中に運用が必要な設備の対応を含む）を考慮したクリティカルパスが示されており、適切で実効性がある事業スケジュールが提案されているか。
④発注者業務の軽減策及びリスク対応策	30点		・ 発注者業務の軽減に資する具体的で効果的な方策が提案されているか。 ・ 設計施工一括発注方式の特徴を踏まえ、主要なリスク及び当該リスク発生を顕在化させないための対応方針が具体的かつ合理的に提案がされているか。
⑤地域貢献策	40点		・ 地域の活性化に寄与する具体的な方策（県内からの資材調達割合や県内企業の工事受注割合、地元学生に対する育成及び研修等）が定量的及び定性的に提案され、県内の経済効果が期待できるものか。
⑥賃金水準の向上	10点		・ 給与等受給者一人当たり給与等支払額の増加率（令和2年と令和3年、令和3年と令和4年又は令和4年と令和5年の給与等支払額を比較）が向上しているか。 ・ なお、入札参加者が共同企業体の場合は、事業に携わる割合がより大きい構成員に対して評価を行うものとする。

設計施工に関する項目（250点）

審査項目	配点		審査の視点
	鎧畑	田沢湖	
①発電設備の 全体計画	30点	30点	・ 本事業の対象範囲（FIP認定新設区分を含む）が理解された上で、改良に向けた具体的で実現性の高い提案であるか。
②発電設備能力 及び発電電力 量の向上	30点	30点	・ 収益性の高い最適な発電計画が示され、その検討プロセスに妥当性がある提案になっているか。 ・ より多くの年間可能発電電力量を確保できる提案になっているか。
③維持管理の簡 素化及び運転 管理費の縮減 に資する方策	25点	25点	・ 発電設備の簡素化、保守省力化、一般汎用品の導入等、運転管理費の縮減及び発電設備の長寿命化（ライフサイクルコストの縮減や平準化）に資する具体的な方策が提案されているか。 ・ 維持管理や保守管理に配慮した発電所レイアウトになっているか。
④長期修繕計画	10点	10点	・ 電力を安定供給するため、ライフサイクルコストの縮減や細密点検周期を考慮した予防保全の考え方（保守点検頻度やその概算費用）が盛り込まれ、具体的で経済合理性のある長期修繕計画（発電運転開始後、概ね30年間）が提案されているか。 ・ 発電設備の故障発生に備えた予備品及び付属品の納入計画が提案されているか。
⑤施工計画	15点	15点	・ 現場特性を踏まえ、実現性と具体性の高い仮設計画が提案されているか。 ・ 周辺環境への影響を最小化するための工夫が具体的に提案されているか。
⑥引渡し後のアフ ターサービス	15点	15点	・ 引渡しにあたり、各発電設備の操作や取扱い等のレクチャーの実施も含めた保守管理に必要な引渡し内容や情報（図書等）が具体的に示されているか。 ・ 将来の故障等による緊急時におけるメンテナンス体制や連絡体制が充実しているか。

(イ) 提案審査書類の審査項目ごとの得点化方法

提案審査書類の定量化審査においては、それぞれの審査項目について、各委員が次に示す5段階評価により評価のうえ得点化する。その上で、得点化した値の平均値（小数点第3位を四捨五入）を算出し、これらの合計値を定量化審査結果とする。

判断基準	評価	得点化方法
独自性のある具体的かつ優れた提案が多く認められる	A	配点×1.00
具体的かつ優れた提案が多く認められる	B	配点×0.75
具体的かつ優れた提案が認められる	C	配点×0.50
要求水準を超える具体的な提案はあるが優れた提案は認められない	D	配点×0.25
要求水準を超える提案は認められない	E	配点×0.00

ウ 開札及び入札金額の確認

県は、入札書に記載された入札金額が予定価格に110分の100を乗じた価格（以下「入札書比較価格」という。）を超えていないことを確認する。この結果、入札金額が入札書比較価格を超える場合は失格とする。

エ 入札金額の定量化審査

入札金額の得点は、次に示す式により定量化のうえ算出する。なお、得点は小数第3位を四捨五入した値とする。

$$\begin{aligned} & \text{〔入札金額に係る得点〕} \\ & = (1 - \text{〔当該応募者の提示する入札金額〕} \div \text{〔入札書比較価格〕}) \times 500 \text{ 点} \end{aligned}$$

オ 総合評価値の算定

審査委員会は、提案審査書類の定量化審査における得点と、入札金額の定量化審査における得点を合計し、総合評価値を算出する。

$$\begin{aligned} & \text{〔総合評価値〕（1000 点満点）} \\ & = \text{〔提案審査書類に係る得点〕（500 点満点）} + \text{〔入札金額に係る得点〕（500 点満点）} \end{aligned}$$

第3章 落札候補者の選定結果

1 参加資格確認

令和6年4月23日に入札公告を行い、令和6年6月5日までに参加表明及び参加資格確認書類等を受け付けたところ、単独企業1社及び共同企業体2グループからそれぞれ申請があった。県は、参加資格確認の結果、単独企業1社及び共同企業体2グループについて参加資格要件を満たしていることを確認した。また、県は、それぞれの代表企業に対して参加資格要件を満たしていることを令和6年6月26日に書面にて通知した。

その後、入札書等、事務局確認書類及び提案審査書類の提出期限までに、1グループより参加辞退届の提出を受けたため、提案審査書類を提出した者は以下の単独企業1社及び共同企業体1グループであった。

登録記号	黄	青
グループ名	—	秋田 DB エネシス・前田・大森 共同企業体
代表企業	清水建設株式会社	株式会社東京エネシス
構成企業	—	前田建設工業株式会社東北支店 大森建設株式会社

なお、審査委員会による審査にあたっては、審査の公平性を期すため、提案審査書類等すべての書類において企業名は伏せ、県により任意で付した登録記号で識別して審査を行った。

2 提案審査書類の基礎審査

令和6年12月4日までに、参加資格要件を満たす単独企業1社及び共同企業体1グループより入札書等及び提案審査書類が提出された。

県は参加資格要件を満たした入札参加者が提出した提案審査書類について、基礎審査を行った。提案審査書類を提出した単独企業1社及び共同企業体1グループは、いずれも県が要求する水準を満たしていたため、基礎審査に合格しているものと認められた。

3 提案審査書類の定量化審査

審査委員会は、令和7年1月31日に提案審査書類の定量化審査を行った。審査に際しては、提案審査書類に関する入札参加者によるプレゼンテーション及び委員による提案内容に対するヒアリングを実施し審査を行った。

(1) 得点結果

提案審査書類の定量化審査に関する得点結果は以下のとおりである。

審査項目			配点	黄	青
事業全体に関する項目	①事業全体方針		50 点	25.00 点	30.00 点
	②事業実施体制		60 点	30.00 点	39.00 点
	③事業スケジュール	鎧畑	30 点	15.00 点	24.00 点
		田沢湖	30 点	15.00 点	24.00 点
	④発注者業務の軽減策及びリスク対応策		30 点	13.50 点	12.00 点
	⑤地域貢献策		40 点	18.00 点	22.00 点
	⑥賃金水準の向上		10 点	4.00 点	6.00 点
小計			250 点	120.50 点	157.00 点
設計施工に関する項目	①発電設備の全体計画	鎧畑	30 点	19.50 点	13.50 点
		田沢湖	30 点	18.00 点	9.00 点
	②発電設備能力及び発電電力量の向上	鎧畑	30 点	18.00 点	15.00 点
		田沢湖	30 点	16.50 点	15.00 点
	③維持管理の簡素化及び運転管理費の縮減に資する方策	鎧畑	25 点	17.50 点	12.50 点
		田沢湖	25 点	15.00 点	11.25 点
	④長期修繕計画	鎧畑	10 点	3.00 点	3.50 点
		田沢湖	10 点	3.00 点	3.50 点
	⑤施工計画	鎧畑	15 点	9.75 点	5.25 点
		田沢湖	15 点	9.00 点	5.25 点
	⑥引渡し後のアフターサービス	鎧畑	15 点	8.25 点	6.00 点
		田沢湖	15 点	8.25 点	6.00 点
小計			250 点	145.75 点	105.75 点
提案審査書類の定量化審査に関する得点の合計			500 点	266.25 点	262.75 点

(2) 講評内容

提案審査書類に関する各審査項目における講評は以下のとおりである。

事業全体に関する項目

審査項目		講評内容
①事業全体方針		・ 黄は、事業のコンセプトに対する理解が示されており、発生電力量の増加、事業費用縮減及び事業期間の短縮が具体的に記載されている点を評価した。 ・ 青は、事業において、発生電力量の増加及び事業期間の大幅な短縮が具体的かつ詳細に記載されているほか、県内企業との取組が見られる点を評価した。
②事業実施体制		・ 黄は、女性活躍推進に取り組んでおり、女性の配置について責任のある立場に配置している点を評価した。一方、主要協力企業との連携など、指揮命令系統がやや不明瞭であった。 ・ 青は、指揮命令系統、事業実施体制が明確であった点が評価できる。
③事業スケジュール	鎧畑	・ 黄は、要求水準書で提示した工程より短縮している点を評価した。 ・ 青は、要求水準書で提示した工程より大幅に短縮した提案となっており、また、クリティカルパスが詳細に記述されており、工期短縮が具体的である点を評価した。
	田沢湖	・ 黄は、要求水準書で提示した工程より短縮している点を評価した。 ・ 青は、要求水準書で提示した工程より大幅に短縮した提案となっており、また、クリティカルパスが詳細に記述されており、工期短縮が具体的である点を評価した。
④発注者業務の軽減策及びリスク対応策		・ 黄は、建設時における予測不可能な条件変更等のリスクに対して、設計責任者、コンサルタントなどが迅速に対応する方針としており、設計・施工一括発注方式の特徴を活かす提案となっている点を評価した。 ・ 青は、発注者業務の負担軽減策が具体的に提案されている点を評価した。
⑤地域貢献策		・ 黄は、地元企業を積極的に活用する方針を示し、金額も具体的に示されており、地域経済効果が

審査項目	講評内容
	期待される点を評価した。 ・ 青は、構成員に県内事業者が在籍し、資材調達、工事発注等による金額も具体的に示されており、十分な地域経済効果が期待される点を評価した。
⑥賃金水準の向上	・ 黄は、賃金水準を向上させている点を評価した。 ・ 青は、賃金水準を大きく向上させている点を評価した。

設計施工に関する項目

審査項目		講評内容
①発電設備の全体計画	鎧畑	・ 黄は、FIP 制度の新設区分の認定を踏まえた各設備の更新内容と土木構造物を一体で発電所位置の比較検討がされており、実現性が高い提案となっている点、また効率や保守性能を考慮した提案がされている点を評価した。 ・ 青は、東北経済産業局との協議により、FIP 制度の新設区分の認定を取得するために必要な工事範囲及び具体的な工法の整理を進めている点を評価した。
	田沢湖	・ 黄は、FIP 制度の新設区分の認定を踏まえた各設備の更新と圧油レス化等、具体的な新技術や設備構成で、効率や保守性能を考慮した提案がされている点を評価した。 ・ 青は、東北経済産業局との協議により、FIP 制度の新設区分の認定を取得するために必要な工事範囲及び具体的な工法の整理を進めている点を評価した。
②発電設備能力及び発電電力量の向上	鎧畑	・ 黄は、有効落差の計算や収益性も含めた水車型式の選定について、具体的な根拠が示された検討プロセスとなっており、要求水準を相当程度上回る年間可能発電電力量を確保できる提案になっている点を評価した。 ・ 青は、有効落差の詳細な計算を行っており、要求水準を上回る年間可能発電電力量を確保できる提案になっている点は評価できるものの、有効落差の計算根拠がやや不明瞭であった。
	田沢湖	・ 黄は、有効落差の計算や収益性も含めた水車型式の選定について、具体的な根拠が示された検

審査項目		講評内容
		討プロセスとなっており、要求水準書を超える年間可能発電電力量を確保できる提案になっている点を評価した。 青は、有効落差の詳細な計算を行っており、要求水準を超える年間可能発電電力量を確保できる提案になっている点は評価できるものの、有効落差の計算根拠がやや不明瞭であった。
③維持管理の簡素化及び運転管理費の縮減に資する方策	鎧畑	- 黄は、維持管理の省力化、運転管理費の縮減及び発電設備の長寿命化に資する効果的な提案が具体的に示されている点を評価した。 - 青は、水車、発電機、発電所建屋内構造について、維持管理の省力化に配慮した提案がされている点を評価した。
	田沢湖	- 黄は、維持管理の省力化、運転管理費の縮減及び発電設備の長寿命化に資する効果的な提案が具体的に示されている点を評価した。 - 青は、水車、発電機、発電所建屋内構造について、維持管理の省力化に配慮した提案がされている点を評価した。
④長期修繕計画	鎧畑	- 黄は、予備品の内容や確保に向けた対応について提案がされていない点を確認された。 - 青は、予防保全の考え方が具体的に提案されていることや、必要な予備品は確保済みである点を評価した。
	田沢湖	- 黄は、予備品の内容や確保に向けた対応について提案がされていない点を確認された。 - 青は、予防保全の考え方が具体的に提案されていることや、必要な予備品は確保済みである点を評価した。
⑤施工計画	鎧畑	- 黄は、施工手順を踏まえた仮設計画が提案され、周辺環境への影響を軽減するための工夫が具体的に示されている点、電気設備切替手順や各工程に基づき、現場特性を踏まえた具体的な仮設計画が提案されている点を評価した。 - 青は、詳細な仮設計画を検討していることや周辺環境への影響を軽減するための工夫が具体的に示されている点を評価した。
	田沢湖	黄は、施工手順を踏まえた仮設計画であり、また現場特性を踏まえた実効性がある仮設計画であ

審査項目		講評内容
		ることや周辺環境への影響を軽減するための工夫が具体的に示されている点を評価した。 ・ 青は、詳細な仮設計画を検討していることや周辺環境への影響を軽減するための工夫が具体的に示されている点を評価した。
⑥引渡し後のアフターサービス	鎧畑	・ 黄は、レクチャーの実施方法について、創意工夫があり、また緊急時対応の体制についても、具体的な体制を明示している点を評価した。 ・ 青は、詳細なレクチャー方法が提案されているが、緊急時対応の体制がやや不明瞭であった。
	田沢湖	・ 黄は、レクチャーの実施方法について、創意工夫があり、また緊急時対応の体制についても、具体的な体制を明示している点を評価した。 ・ 青は、詳細なレクチャー方法が提案されているが、緊急時対応の体制がやや不明瞭であった。

4 入札金額の定量化審査

県は、令和7年1月31日に開札を行い、予定価格の範囲内であることを確認した。審査委員会は、開札結果の報告を受け、入札金額に関する得点化を行った。

入札金額の定量化審査に関する得点結果は、以下のとおりである。

登録記号	黄	青
入札金額（税抜）	20,800,000,000 円	21,220,000,000 円
入札金額の定量化審査の得点 （配点 500 点）	25.73 点	16.16 点

5 総合評価値の算定

審査委員会は、令和7年1月31日に、提案審査書類の定量化審査の得点と入札金額の定量化審査の得点を加算して、以下のとおり総合評価値を算出した。

登録記号	黄	青
提案審査書類の定量化審査の得点 (配点 500 点)	266.25 点	262.75 点
入札金額の定量化審査の得点 (配点 500 点)	25.73 点	16.16 点
総合評価値	291.98 点	278.91 点

6 落札候補者の選定

審査委員会は、上記の結果に基づき「黄（代表企業：清水建設株式会社）」を落札候補者として選定した。

第4章 総評

本事業は、建設後 60 年以上が経過し、設備全体の老朽化が進行している鎧畑及び田沢湖発電所について、FIP 制度の新設区分に適用する大規模改良事業を実施するものである。

設計段階から施工業者が参画することで、施工のノウハウや創意工夫等を設計に最大限反映させ、事業期間の短縮、コスト縮減、新技術の導入による維持管理の効率化等を図りつつ、安定的な電力供給を目指すために、設計・施工一括発注方式による実施が採用されたところである。

今回、総合評価落札方式による一般競争入札の公告において、単独企業 1 社及び共同企業体 1 グループからの応募があり、どちらの提案においても設計・施工一括発注方式の特徴を活かした提案内容が示されていた。

審査委員会では、落札者決定基準に則り、各評価項目について、厳正かつ公正に審査を行った結果、清水建設株式会社（登録企業：黄）を落札候補者として選定した。同企業は、審査項目の「設計施工に関する項目」で特に高い得点を獲得した。

なお、審査委員会の審議において、上記のとおり評価する一方で、清水建設株式会社（登録企業：黄）の提案内容に対して、以下に示す配慮・要望事項が挙げられた。

- 事業実施体制について、協力企業との連携や指揮命令系統等の実施体制を明確に整理したうえで本事業に取り組んでいただきたい。
- 事業スケジュールについて、クリティカルパスの根拠を明確にしたうえで、短縮に努めていただきたい。
- 長期修繕計画について、水車の予備品について記載がなかったため、予備品確保に向けた対応を求めるとともに、施設機能の維持とライフサイクルコストの縮減に努めていただきたい。
- 対面式対話において協議を行い、内容面について合意した設計・施工請負契約書（案）について、合意内容に基づき速やかに締結のための事務を行っていただきたい。

県及び落札候補者は、本事業が県のみならず国内における再生可能エネルギー電源の安定的な電力供給の一役を担うものであることを認識し、本事業をより良いものとするために、必要な対応に努めることを期待したい。

最後に、限られた時間の中で、質の高い提案をまとめた単独企業 1 社及び共同企業体 1 グループの提案力を高く評価するとともにその熱意及び姿勢に敬意を表したい。

令和 7 年 3 月 19 日

秋田県鎧畑及び田沢湖発電所大規模改良事業に係る総合評価審査委員会（小部会）
委員一同